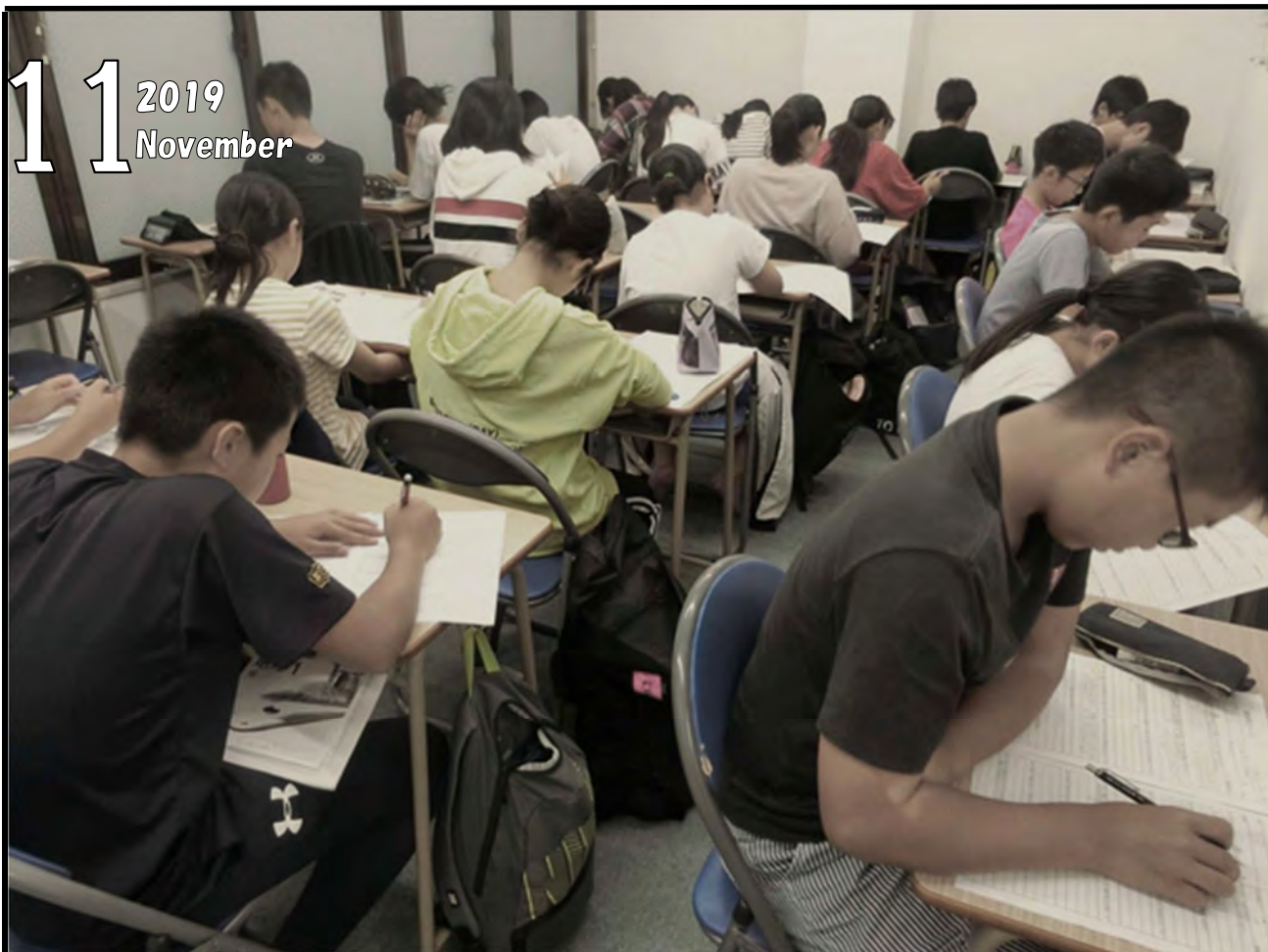


WES通信



11 2019
November

あなたもやってませんか？

⚠ 注意！ やってはいけない勉強法！

➡ p.8~9へ

勉強は覚えることから始まる

★ 必読！ 塾長コラム～「暗記」

➡ p.10~11へ

高校体験でどんなことするの？

★ 受験情報！ 高校体験入学・説明会

➡ p.6~7へ

- 3 「フォローアップ指導」始動!**
一人ひとりの「？」を「！」に変えるために
- 4 「ぶっ期末」実施のお知らせ**
- 5 「スタ中！」 「ピカ中！」の感想**
- 6 「高校体験入学・説明会について」**
- 8 やってはいけない勉強法**
こんな勉強してませんか？
- 10 塾長コラム～「暗記」**
- 12 英検結果発表!**
驚異の合格率! ?
- 13 2学期中間テスト成績優秀者**

「フォローアップ指導」始動！

一人ひとりの「？」を「！」に変えるために

当塾では、中学生を対象とし、10月末より「フォローアップ指導」を実施いたしております。
「フォローアップ指導」とは、

- ① 一人ひとり違う「わからないところ」をピンポイントで指導して「わかった！」に変え、さらに「勉強って楽しい！」へと変えていくこと
- ② 通常授業(演習を含みます)だけではどうしても不足してしまう問題演習の量や時間を確保して、「わかる」を「できる」に変えていくこと

を目的とした指導です。

日々の WILL での勉強という「努力」を、成績アップという「結果」に確実につなげるための「もう一押し」であるをご理解いただければ幸いです。

もちろん費用はいたしません。

また、各科目とも学習した単元の理解度と定着度を確認するための小テストを、授業や演習の中で、これまで以上の頻度で随時実施してまいります。

「フォローアップ指導」が通常授業にプラスする形となることと、小テストの実施回数が増えるため、授業時間や通塾日が増えますし、家でやらねばならない学習量も増えることとなります。ご家庭にご負担をおかけすることもあるかと存じますが、生徒一人ひとりが目標を達成し、「**自信と笑顔で夢実現！**」するための追加指導ですので、ご理解ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

「フォローアップ指導」の日時につきましては、生徒本人と調整して決定し、日時を書いた紙をお渡しいたします。

ご質問やご不明な点等ございましたら、当塾までお気軽にお問い合わせくださいませ。

WILL教育ゼミ直伝！
学力がぐんぐん伸びる
勉強のしかた
この3ステップで点数を爆発的に伸ばそう！

| | |
|--|--|
| わからないところを見つける ① | <ul style="list-style-type: none">問題はノートに ていねいに解くこまめに マルつけをする間違えた問題には 必ず印をつける |
| 見つけた わからないところが わかる ようになる ② | <ul style="list-style-type: none">解答・解説を じっくり読んで 理解する教科書やノートも よく読むわからなければ 先生に質問する |
| わかるように なったところが できる ようになる ③ | <ul style="list-style-type: none">印をつけた問題を 何も見ずに もう一度解く正解ならOK！ 間違えたら また印をつける全問正解できるまで 繰り返す |

©2015 WILL EDUCATIONAL SEMINAR

WILL 教育ゼミ 恒例の定期テスト対策！

「ぶっ期末！」実施のお知らせ！！

関連イベント「スタ期末！」「レビ期末！」もやります！

11月19日(火)から、恒例の定期テスト対策イベント「ぶっ期末！」が実施されます。

中間テストが終わって「えっ！ もう??」なんて思うかもしれませんが、今月末には期末テストが始まります。「ぶっ期末！」が始まる前には、提出物イベント「スタ期末！」も実施！今からでも遅くありません！提出物をこまめにやっておきましょう。

テーマは「目標と計画の立て方をマスターする」

前回の「ピカ中！」では、目標を達成するための勉強のやり方を工夫するだけでなく、**毎日の、毎時間の目標をもっと上手に立てる方法**についてマスターすることをテーマとして挙げました。そこで、その目標を達成するために、新しく導入されたのが「やるべきリスト」。

そして、今回の「ぶっ期末！」でも「やるべきリスト」を使って、

「計画の立て方」をマスターしてもらいます。いつもの定期テス

ト対策では、「プランニング」と称して、3～4日間の勉強の計画

を立てていますが、今回は**一気に全日程のテスト対策期間の計画を立てます！**

「ひいっ！ そんなことできるの？」なんて思わないでください。まずは、やってみることが大事です。初めから補助輪なしで自転車に乗れる人なんていませんよね？

長時間学習では、学力や知識を身につけるだけでなく、「勉強のやり方」を身につけることも目的としています。試行錯誤しながら、少しずつ上達していけばいいのです。



「スタ中！」「ピカ中！」を終えて

今回初めて「スタ中！」で提出物が終わった。いつも1週間前でも提出物が終わってなくて余裕がなかったけど、今回早めに終わって**前より「ピカ中！」で勉強できる量も増えて、テストに向けてやる気が出た。「やるべきリスト」**は自分がやらないういけないことがよくわかったのでよかった。(中3 女子)

今までよりも長いピカ中だったが、自分に足りないことを見つけ、それを補うために何をしたらいいか考えながら勉強できた。なかなか計画通りに進まなかった日もあったから、もっと具体的に計画を立てようと思った。数・理を中心的に取り組めて**自信を持ってテストを迎えることができて良かった。**(中3 女子)

自分1人で家で提出物をやっていたらぜんぜん終わらなかったと思う。なので、ピカ中に参加してはやめに提出物が終わらせられたのでよかった。テスト勉強の時間がいっぱいできたので、その分勉強ができて**少し自信をもってテストが受けれると思いました。**(中1 女子)

今回は時間が少ないとわかっていながらも、提出物をゆっくり焦らずにやってしまってテスト対策がぜんぜんできなかった。「スタ中！」の時から**もっと頑張ればよかった**と思っています。なので次回は少しずつやっていこうと思います。(中2 女子)

静かで集中しやすかったので、はかどりました。自分の目標にもくもくと進められた所が、今回一番良かったと思います。「やるべきリスト」を見れば、何をすればいいか分かったので良かったです。(中1 男子)

今回が1番充実した「ピカ中！」だった。時間配分もまんべんなくできたし、「やるべきリスト」があったおかげで自分には何が足りてないのかがよく分かった。**たくさん勉強できたおかげで少しだけ自信がついた。**(中3 女子)

「スタ中！」で早めに提出物が終わった人は、「ピカ中！」で自分の勉強に入ることができ、自信を持ってテストに挑んでいます。「スタ中！」を達成できなかった人は、「スタ期末！」は何としても達成できるようにしましょう。

また、今回の「ピカ中！」では、新たに**「やるべきリスト」**を作成してもらい、テストまでに自分が勉強することを目に見える形にしてもらいました。

生徒たちも計画が立てやすくなりました。やったことも目で見て確認ができるので「これだけやったから大丈夫！」という自信にもつながったようです。

やるべきリスト！(2019年度 2学期中間テスト対策「ピカ中！」)

() 中学校 () 年 名前 ()

(使い方)
1. 自分で「やるべきだ！」と思う教材名やプリント名を書く。(まずは学校のワークやね！)
2. 1で決めた教材やプリントをした日付を書く。(それぞれやる回数は自分で考えること。)

| 科目 | 教材名・プリント名 | 1回目 | 2回目 | 3回目 |
|-----|-----------|------|------|-------|
| 国/語 | 7-7 | 10/2 | 10/6 | × |
| | 7-7(読書) | 10/2 | 10/6 | × |
| | 白アリ | 10/2 | 10/6 | × |
| | 読書(1-1) | 10/2 | × | × |
| 数学 | テスト | 10/4 | 10/7 | 10/10 |
| | 7-7(読書) | 10/2 | × | × |
| | 7-7(読書) | 10/2 | × | × |
| 英/語 | 7-7 | 10/2 | × | × |
| | テスト | 10/2 | × | × |
| | 7-7(読書) | 10/2 | × | × |
| 理科 | 7-7(読書) | 10/2 | 10/7 | × |
| | 7-7(読書) | 10/2 | 10/7 | × |
| | 7-7 | 10/2 | 10/7 | × |
| 社会 | 7-7(読書) | 10/2 | 10/7 | × |
| | 7-7(読書) | 10/2 | 10/7 | × |
| | 7-7(読書) | 10/2 | × | × |
| 副教科 | 読書 | 10/2 | × | × |

高校体験入学・説明会について

大阪府では、例年6～12月にかけて、中学生やその保護者対象の「体験入学」や「説明会」などが行われています。

当塾の中3生も、特に秋以降、さまざまな高校の「体験入学」、「説明会」に参加しています。

このようなイベントに参加すると、**その高校の雰囲気や、生徒や先生たちの様子などを実際に自分の目で見て、肌で感じるすることができます。**

【「体験入学」でできること】

「体験入学」の内容は、高校によって異なります。

ここではその一部をご紹介します。

授業体験

高校の先生の授業が実際に受けられます。

外国人講師とゲーム感覚で英語を学んだり、理科の実験などが行われます。

完全に「高校の内容！」という訳ではないことが多いので、そこまで構える必要はないです。

中学生が理解できる内容で体験授業を受けることができます。



部活動体験

部活動が高校選びの決め手になる生徒も少なくはないはず。

先輩たちの様子を見学したり、実際に参加したりすることができます。

進路相談

高校の先生が進路についての相談を個別に対応してもらえることもあります。

ここでは、**パンフレットに書いていないことや、全体の説明会では分かりにくかったことなどを質問することができます。**

【「体験入学」は何回もいくべき？】

中学校の先生の中には、「説明会はできるだけ何回も行きなさい」とおっしゃる方もいらっしゃるそうです。

では、何回も説明会に行く必要、何度も行くことのメリットはあるのでしょうか？

答えは「No」です。

高校によっては、説明会の際に「氏名」や「中学校名」を控えることもあります。それによって受験の際に点数が加算されるなどということは全くありません。

日によって「体験入学」の内容が違っているならば、同じ高校の説明会に複数回行くことも価値がありますが、そうでなければ、何度も行く必要はありません。

【「この高校に行きたい！」と思える高校選びを】

大阪府公立高校入試においては、2007年度入試に、「9学区制から4学区制への学区数減少」、2014年度入試に「学区制撤廃」という学区編成が行われ、受験生にとって選択の幅が大きく広がりました。

しかしそれとは逆に、学区がなくなったせいで、選べる学校の数が増加し、「高校選び」がより難しくなっています。

さらに、9月号のWES通信で書いた通り、内申点の比率も、過去と比べるとより複雑になってきています。



また、私立高校入試においては、高校ごとのコース設定やその特色が、昔と比べてかなり複雑になっており、公立と同じく、「高校選び」が難しくなっています。

志望校を選ぶ際、偏差値だけではなく、大学への進学実績、校風、学校の取り組み内容、通学時間、さらには修学旅行の行き先、制服、校則など、様々なことを考慮して選んでもらいたいです。

そのために、各高校のホームページの閲覧や説明会への参加などを通して、その高校がどんな高校なのかということをしつかりと調べる必要があります。

「公立に行くから、私立はどこでもいい」「自分の偏差値から考えたらこの高校かな」などと、簡単に志望校を決めてほしくないのです。

「この高校に行きたい！」「この高校に行って、こんなことをしたい！」

みなさんが胸を張ってそう言えるような高校を選んで欲しい。

我々はこれからもそのお手伝いをしていきたいと考えています。

こんな勉強してませんか？ やってはいけない勉強法

p.3 に記載しました通り、中学生を対象に「フォローアップ指導」を先月末から開始しています。やり始めてすぐ、私たちスタッフはあることに気づきました。**頑張っているけど、結果に結びついていない人たちは「やってはいけない方法」で勉強していたのです。これではせっかくの努力も水の泡です。**

そこで今回は、愛知県の個別指導塾「さくら個別指導学院」塾長の国立拓治さんの著書『勉強のキホン』を参考にしながら、「**やってはいけない勉強法ワースト5**」と、**どうしたら正しい勉強法に変えられるか**をご紹介します。



①＜教科書をまとめる＞

教科書をまとめるのは、一見誰もができそうに見えて、実はとても高度な勉強法なんです。

なぜなら、教科書をまとめるためには、

- 1.教科書を読んで理解する。
- 2.脳内で要点を整理する。
- 3.ノートに要点を再配置する。

という3つのことを同時に処理する必要があるのです。

こんな高度な勉強法をこなせるのは、学年でもトップ5%に入れる生徒だけです。

へたに手を出すと、要点がどこかわからず、**ただの「教科書丸写し」**になってしまいます。

②＜調べて埋める＞

教科書を横に置き、ワークや問題集の1問1問を調べながら答えを埋めていくやり方です。これもよくやりがちですが、とんでもなく間違ったやり方です。**見ながら問題を解く時、脳はほとんど動いていません。**その証拠に、すぐに同じ問題を何も見ずにやってみても、全然できないのです。

何も見ずに解いてみてから、わからない問題を教科書などで調べるのと、すべての問題を初めから調べて埋めるのは全く別の作業です。また、**すべて調べて埋めたのにもかかわらず、赤で○を付けてしまう人もいます。**これでは、どこを覚えられているか、後で見てもわかりません。

覚えていないものや間違ったものには×や✓をつけて、覚えていきましょう。正しい覚え方は⑤を読んでくださいね。